

同意証明書 独立養子縁組プログラム

あなたは養子縁組承諾書にサインをすることであなたの子供の養子縁組を承諾することになります。承諾するということはあなたが請願者にあなたの子供を永久的に受け渡し、その請願者があなたの子供を自分の子供同様に育てていくことです。養子縁組の請願が認可された時点であなたはこの子供に対して親としての何らかの権利も持たないことになります。

この用紙にサインをし養子縁組を承諾する前に、斡旋機関またはカリフォルニア州社会福祉事業部の担当者との相談の中で添付資料を読んでください。

もし不明なところある場合は必ず質問してください。あなたの子供の養子縁組を承諾するということは非常に重要な決断を要します。よって決断をする前に全ての事実を知っておく必要があります。

同意証明書を履行するにあたっての手順：

この同意証明書にサインをし養子縁組を承諾する前に、斡旋機関の担当者と資料を注意深く読んでください。もし不明なところがある場合は必ず質問してください。

1. あなたがあなたの子供の保護権利を放棄し、請願者があなたの子供を養子として迎え、また請願者が自分の子供同様にあなたの子供を育てていくことをしっかりと考えた上でこの同意証明書を履行してください。
2. 本用紙の各事項をしっかりと読んでください。もし何か不明なところがある場合は、あなたが理解できるまで斡旋機関の担当者に説明してもらってください。
3. 各事項を理解しそれに合意する場合は、各事項の番号の横の四角内にあなたのイニシャルを書き入れてください。
4. 合意できない場合や斡旋機関の担当者の説明後も事項が理解できない場合は、その四角内にイニシャルをせず、決断をするために助けと時間がほしいと伝えてください。
5. 全ての欄にイニシャルをした後で、最後のページに署名をしてください。
6. 全てが完了した時点で同意証明書と養子縁組承諾書のコピーをお渡しします。

この用紙は下記の用紙の1つと共に使われます。
AD 1A, AD 1C, AD 1F, AD 165, AD 166, AD 4336

同意証明書
子供の児童保護権を請願者に与えた親

1. 私は、養子縁組により _____ (「請願者」) に私の
 (請願者の氏名)
 の子供 _____ を永久的に託します。
 (子供の氏名)

2. 私は、請願者についての少なくとも下記の情報の私個人の認識に基づき、私の子供の親として請願者を選びました：

第一請願者：

氏名： _____

年齢： _____ 宗教： _____ 人種： _____

これまでの婚姻回数： _____ 勤務先： _____

普通な毎日の活動を制限したり、一般的な平均寿命を短縮するような健康状態：

同居していない子供；これらの子供に対する養育義務；および養育義務をはたせない理由：

交通規則違反を除く逮捕歴および犯罪歴：

児童虐待または養育怠慢による子供からの隔離：

第二請願者：

氏名： _____

年齢： _____ 宗教： _____ 人種： _____

これまでの婚姻回数： _____ 勤務先： _____

普通な毎日の活動を制限したり、一般的な平均寿命を短縮するような健康状態：

同居していない子供；これらの子供に対する養育義務；および養育義務をはたせない理由：

交通規則違反を除く逮捕歴および犯罪歴：

児童虐待または養育怠慢による子供からの隔離：

家族：

現在の婚姻年数： _____

一般的な住宅環境、あるいはもし要求されれば特定の住所：

請願者の家に同居するその他の子供および大人：

3. 私は私が独立した養子縁組手続きにおいて、それを援助する弁護士を持つ権利があることを理解している。また、もし請願者と私がお互に高い額に合意した場合を除いて、請願者はそのような法定弁護人に、500ドルまでの費用の支払い義務があることを理解している。
4. 私は私が他の専門家、家族、および友人と養子縁組を通して自分の子供を手放す計画について話すかもしません。
5. もし私が子供の養子縁組に躊躇している場合、斡旋機関が家族面・健康面・金銭面・また他の問題について私を手助けしてくれる所を紹介してくれることを理解している。
6. もし私が養子縁組に同意しない場合、養子縁組の承諾を拒否する書式（Refusal to Give Consent to Adoption form – AD20）に署名するか、養子縁組斡旋機関に手紙を書き、その機関が裁判所に私が子供を請願者に養子として出したい旨を報告することを理解している。
7. もし私が養子縁組に同意しない場合、私は子供の返還を要求できる。請願者が子供を返さない場合、私は裁判所に訴えることができる。その場合、たぶん弁護士が必要であることを理解している。
8. 私は30日間の期限が過ぎた時、または同意を無効にする権利の放棄書（Waiver of Right to Revoke Consent – AD 929）に署名した時のどちらかが最初に起こった時点で、養子縁組の同意は自動的に変更不可なることを理解している。30日間の期限の第一日目は養子縁組の同意に署名がされた日とする。
9. 私は、もし同意書に署名した後で気持ちが変わり、養子に同意したことの無効と子供の返還を求める文書に署名し、それをカリフォルニア州社会福祉事業部、または委任された郡の養子縁組機関（どちらか養子縁組を調査している方）に送らなければならないことを理解している。30日間の期限が過ぎた時、または同意を無効にする権利の放棄書（Waiver of Right to Revoke Consent – AD 929）に署名した時のどちらかが最初に起こった時点で、私は養子に同意したことを無効にすることができないことを理解している。30日間の期限の第一日目は養子縁組同意に署名がされた日とする。
10. 養子縁組の同意が変更不可になった後では、請願者が養子縁組の請願の取消しに同意するか、あるいは裁判所が養子縁組の請願を却下するときのみ、子供の保護権を回復できることを理解している。
11. 養子縁組が裁判所によって認められるまでは、私が子供の法律上の責任を負うことを理解している。もし子供が養子にならない場合は、斡旋機関がそのことを私に知らせ、子供のために別の計画を立てるよう要請する。私は住所変更を斡旋機関に通知しなければならないことを理解している。
12. 請願者について、また請願者の家族の中で私の子供がなれていかなければならないことなどについての十分な情報を受け取り、私は養子縁組の同意署名の手続きをすることを希望する。

13. いったん養子縁組が裁判所で認められれば、私がもはや子供の法律上の親ではなくなることを理解している。これは次のことを意味する。：
- A. 私はもはや私の子供の養育責任を負わないこと。
 - B. 請願者が親であり、法律上の子供の養育責任を負うこと。
 - C. 私はもはや子供の保護、奉仕、または所得に対して何の権利も持たないこと。
14. もし私が将来、養子縁組を調査する斡旋機関に情報を尋ねた場合、斡旋機関は私に養子縁組が完了する予定日を知らせることと、もし養子縁組が確定していない、あるいはなんらかの理由により無効にされた場合は、私の子供の養子縁組が再度考慮されているかどうかを含むすべての既知の子供の養子縁組に関する状態についての情報を私に与えなければならないことを理解している。
15. 子供の養子縁組が裁判所で認められた後は、遺書または信託で特別に私の子供の名を含む場合以外は、この子供は私の血族からの何らかの相続権をも持たないことを理解している。その場合、この子供は養子縁組にて得た親からの法的相続権を持つ。
16. 子供が法律上で養子にされた後は再び保護権の申し立てはできないことを理解している。
17. 私は養子縁組斡旋機関が次の場合のみ、養子縁組記録から得た情報を公表できることを理解している。
- A. 法律で指定された養子縁組斡旋機関から私の子供を助けるために必要があると要請があったとき
 - B. 成人した私の子供と私がコンタクトをとるために、指定された情報を公表する同意書類に署名したとき
 - C. 私の子供が 21 歳になり、私の身元について尋ね、私が私の身元と機関の持っている私の最新の住所の公表を書面で同意したとき
 - D. 私の子供が 21 歳になり、私が子供の養子縁組後の名前と機関の持っている子供の最新の住所を入手できることを子供が書面で指示し、私がその情報について尋ねたとき
 - E. 私の子供が 21 歳になり、養子縁組斡旋機関が、私の身元と機関の持っている私の最新の住所の公表をすることが法的に正当だと知り得たとき
18. 私は独立的な養子縁組を調査する機関の記録に私自身の情報をいつでも追加できることを理解している。
19. 私は裁判所が要求を考慮した後、裁判所ある養子縁組に関する情報を公表するかもしれないことを理解している。
20. 私は、私の子供の養子縁組について意図的に真実を伝えられなかったと思う場合は、養子縁組が同意されてから 3 年間の間に、私が裁判所に私の子供の養子縁組を保留するように要求できることを理解している。
21. 私は私の子供の保護権を保持するか、または養子縁組に同意するかを慎重に考えた結果、私は養子縁組に同意することが子供にとって最高のことであると決断した。私はこの同意証明書と養子縁組の承諾を読みまた理解し、決断に要するための手助け並びに時間をもう必要としないと決断した。私は請願者が私の子供を養子として迎える事を承諾し、この書類に進んで署名する。

_____の父・母である私、_____は、私
 (子供の氏名) (親の氏名)

自身がイニシャルをした上記の項目を理解し、それに同意致しました。

_____ (年月日) _____ (親の署名)

カリフォルニア州内で著名された場合はセクション A に記入してください。
 セクション A :

_____の認可された職員である
 (管轄事務所)

私、_____は_____に
 (氏名・肩書き) (年月日)

_____がこの同意証明書に著名したことを証する。
 (承諾する親の氏名)

_____ (公認職員)

カリフォルニア州外で著名された場合はセクション A に記入してください。
 セクション B :

_____州 }
 _____郡 } SS.

20____年____月____日、前記の州・郡の公証人である_____

自身が_____に出廷し、当事者が証書に記述されている名前の人物であることを知り、その人物がこの証書を施行したことを承認した。

よってこの証言について私はここに公認の証印を添える。

(公証印)

_____ (州・郡認定公証人)

任務失効日_____